「○○○題材名（タイトル）○○○」

（内容名）を実践して

○○市　技術・家庭科研究会

１　はじめに

　本校においては，「○○○○」「○○○○」という生徒の実態がある。そのため，「○○○○」という資質・能力の育成を目指し，教師用の題材構想シートと生徒用の授業活用ワークシートを制作し，授業で利用した。

２　題材構想シートについて

　構想シートには次の記入欄を設けた。

|  |
| --- |
| ①○○○○，②○○○○，③○○○○，④○○○○，⑤○○○○，⑥○○○○，⑦○○○○，⑧○○○○，⑨○○○○，⑩○○○○ |

①は，○○○○○○○○。③は，○○○○○○○○。内容としては，○○○○○○○○とした。⑥○○○○○○○○にした。⑨には，○○○○○○○○を想定した。

（ここには想定した内容やどんな意図をもって記入欄を設けたかなど，記入欄の項目名だけでは読み取れない内容を記述してください。）

３　授業活用ワークシートについて

　活用シートには，次の記入欄を設けた。

|  |
| --- |
| ①○○○○，②○○○○，③○○○○，④○○○○，⑤○○○○，⑥○○○○，⑦○○○○ |

②は，○○○○○○○○。③は，思考の流れをまとめられるように○○○○○○○○といった工夫をした。④は，○○○○○○○○することで学習の進め方について試行錯誤し，生徒自ら学習を調整できるようにした。⑤は，○○○○○○○○について具体的に内容を記入できる欄を設けた。

（ここには想定した内容やどんな意図をもって記入欄を設けたか，どんな工夫をしたかなど，記入欄の項目名だけでは読み取れない内容を記述してください。）

４　実践後の評価・改善・感想等

　題材構想シートを用いて授業を行ったところ，○○○○○○○○ができた。また，授業活用ワークシートを用いて授業を行ったところ，○○○○○○○○できた。改善点としては，○○○○○○○○ができるようにしたい。

（ここにはワークシートを利用することでできたことやできなかったこと，改善するべき内容，感想，授業に対する提案などを記述してください。）

留意点：記入例では「○○○○」の部分を赤字で具体的な授業内容に置き換えて記載しています。参考にして下さい。

（記入例）

「生活を豊かにする布製品を作ろう」

―Ｂ　エコな布製品の製作を実践してー

○○市　技術・家庭科研究会

１　はじめに

　本校においては，「衣服に興味があるがそれらの消費が社会に及ぼす影響についてあまり考えていない」「エコバッグを使用することや，レジ袋の削減には貢献しているが，その必要性には関心がない。」という生徒の実態がある。そのため，「身の回りの布製品に関心を持ち，補修したり，製作したりして，生活を豊かにする工夫ができる」という資質・能力の育成を目指し，教師用の題材構想シートと生徒用の授業活用ワークシートを制作し，授業で利用した。

２　題材構想シートについて

　構想シートには次の記入欄を設けた。

|  |
| --- |
| ①本質的な問い，②授業で働かせる見方・考え方，③授業内容，④課題設定の資料，⑤見方・考え方を働かせている生徒の姿，⑥課題，⑦解決方法の検討・計画，⑧課題解決に用いる教材，⑨生徒に実践活動を評価・改善させる方法，⑩評価計画と記録 |

①は，一貫したテーマで指導できるように本質的な問いの欄を設けた。②は，題材と学年にあわせた想定する見方・考え方を書き出した。見方・考え方としては持続可能な社会の構築として「不要な衣服の活用法」「今ある資源の有効活用」「長く使える丈夫な縫製」快適として，「生活に便利なもの」「身の回りの整理整頓」「おしゃれに使える」を想定した。③は，②に対応させ，気付くことができる授業内容を書き出せるようにした。授業内容としては，「生活を豊かにするための工夫」,「基礎技能」,「リメイクエコバッグの製作」,「発表会」とし,自ら問題を発見し,課題設定できる学習とした。⑥は「生活を豊かにする布製品を作る」,「製作の基礎技能を身につけ,補修技能を身につける」,「いらなくなったものを活用するエコ製作をする」という課題を想定し，⑦に解決方法の手順や必要となる教材を記述できるようにした。⑨には,製作した自分の姿を振り返り,評価や改善の方法を記入させた。⑩では評価を授業での評価を提示し,意識して取り組ませることができるようにした。

３　授業活用ワークシートについて

　活用シート（学習のあしあと）には，次の記入欄を設けた。

|  |
| --- |
| 1. できるようになったこと，②見方・考え方，③課題解決に向けて，④これからの自分について
 |

①～④の項目を学習のまとまりごとに自分でまとめていくようにした。できるようになったことは，②どのようなことから学んだか，見方・考え方に気づくようにした。③は，それぞれの内容において，今後どのような取り組みが必要か考えさせる場面とした。課題設定やその実践方法がかんがえられるようにした。④は学習の内容において，自ら調整したり，今後の新たな目標設定したりできる欄を設けた。

４　実践後の評価・改善・感想等

　題材構想シートを用いて授業を行ったところ，生徒に必要となる見方・考え方が明確となり，授業中に繰り返し話題にすることができた。また，授業活用ワークシートを用いて授業を行ったところ，生徒は授業の内容について振り返り，課題解決ができるように試行錯誤しながら調整している姿が多く見られた。改善点としては，内容ごとであったが，記入時間が設定できない日もあり，計画性のある生徒はこちらから指定せずに記入することができたが，指示をしないと記入できない生徒がほとんどであり，記入時間を設定することが難しい時間があった。他教科でも同じような取り組みをしているため，まとめができる生徒も増えてきたが，論述することが苦手な生徒の評価が低くなってしまうこともあるので，作品や授業中の行動観察からも評価の改善を図っていきたい。